

# 栄養ケア・ステーションの活動

公益社団法人 埼玉県栄養士会 常任理事

栄養ケア・ステーション部部長  
地域活動事業部運営委員長

川嶋啓子

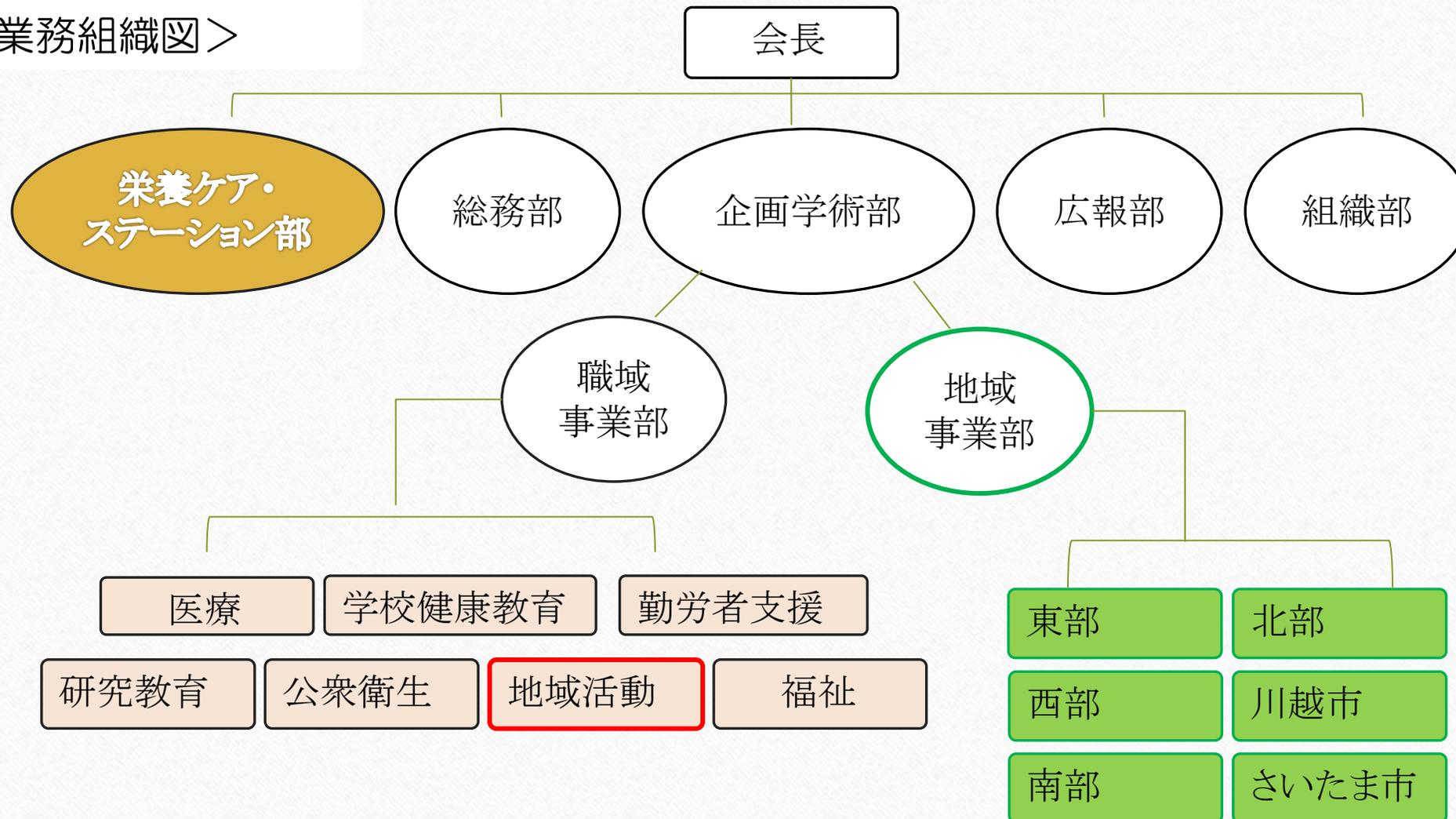
# 内 容

- 公益社団法人 埼玉県栄養士会の概要
- 栄養ケア・ステーションについて
- （公社）埼玉県栄養士会栄養ケア・ステーション
  - ・栄養ケア・ステーションの活動紹介
  - ・地域包括ケアシステムと栄養ケア
  - ・埼玉県独自システム“栄養ケアユニット”
- 認定栄養ケア・ステーション制度について
  - ・認定栄養ケア・ステーションの活動紹介
- 栄養ケア・ステーションが目指すもの



# 公益社団法人 埼玉県栄養士会 (令和4年3月現在 会員数1519名)

## <業務組織図>



# 栄養ケア・ステーション

食・栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が所属する健康づくりや病気の予防・改善などのサポートをするための地域密着型の拠点



地域活動事業部栄養士との連携、活用  
(起業栄養士含む)

\* 日本栄養士会では  
平成20年に全国展開

## 歴史から見るニーズの変化

戦後の栄養改善の必要性

施策と共に



成人病予防  
生活習慣病予防  
特定保健指導  
高齢者の栄養改善

個々人の状況に適した栄養管理の必要性  
介護予防の必要性 (要支援、要介護者の増加)  
地域包括ケアシステムと連動した栄養ケア<sup>4</sup>

# 公益社団法人 埼玉県栄養士会

## 栄養ケア・ステーション

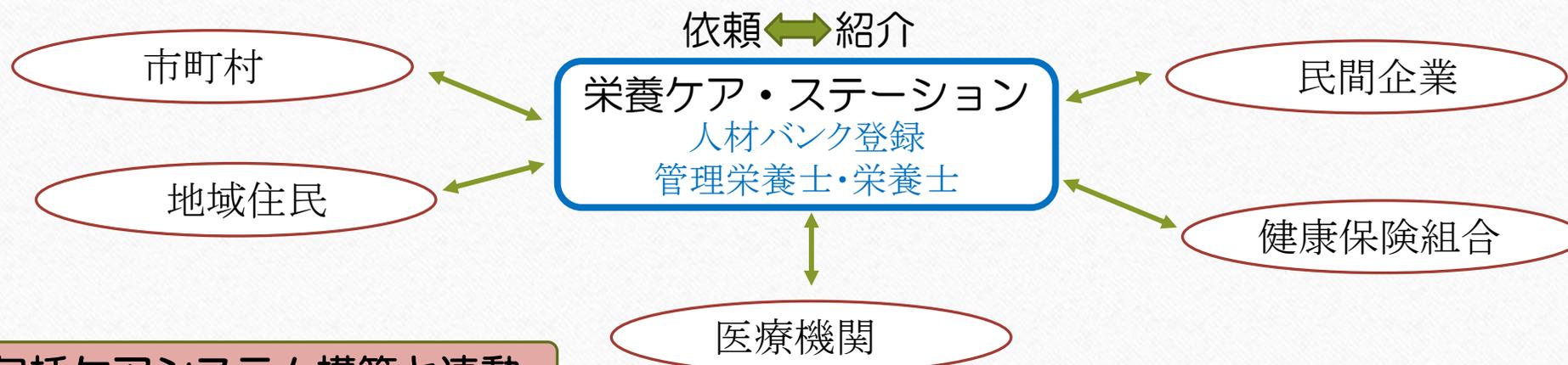
○平成17年度（2005年度）～

業務部として栄養ケア・ステーション部設置・運営

○各種依頼に対して管理栄養士・栄養士の紹介

（人材バンク登録者数 275名 令和3年6月現在）\*実働60名ほど

○無料職業紹介所の設置



地域包括ケアシステム構築と連動

# 活動の実際

## 栄養改善、健康づくりに関する事業

食・栄養に関する栄養相談  
健康教室、栄養改善教室講師  
食育講座、料理教室等講師  
各種セミナー・研修会の講師  
食事の栄養分析  
市民健康栄養講座（第1水曜日）



# < 市民健康栄養講座・栄養の日（8月4日） >

## 2022年度 市民健康栄養講座のご案内

内 容：講話、骨密度測定、栄養・食生活相談コーナー

- 第1回 4月6日（水）認知症を予防しよう！（楽しく脳トレ）
- 第2回 6月1日（水）「食べて元気にフレイル予防」
- 第3回 7月6日（水）「健康のため水を飲もう」
- 第4回 8月6日（土）“**栄養の日**”のイベント
- 第5回 9月7日（水）災害に備えて（非常食・缶詰料理）
- 第6回 10月5日（水）血糖値が気になる方へ
- 第7回 11月2日（水）むせや飲み込みが気になる方へ
- 第8回 12月7日（水）おいしく減塩！
- 第9回 2月1日（水）運動と食事 筋力アップ！
- 第10回 3月1日（水）骨粗しょう症を予防しよう！

時 間：10：00～11：00

受 付： 9：30から

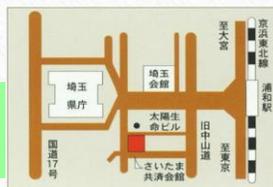
場 所：公益社団法人埼玉県栄養士会 会議室  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-10-4  
埼玉建設会館4階（地下1階からもエレベーターあり）

対 象：どなたでもご参加いただけます

参加費：無 料 定員：20名（先着順）

お問い合わせ/お申込先：公益社団法人埼玉県栄養士会

TEL:048-866-7925 FAX:048-866-7926



栄養の日  
栄養週間

8月4日  
8月1日～8月7日

2017年、公益社団法人日本栄養士会が定める

- 「食べる」ことは生きるのに必要な栄養素を取り込むのに大切なこと。
- 大切な人と楽しく「食べる」ことで幸福感や満足感が得られる。
- 楽しく食べて、未来の自分の笑顔を作るきっかけの日。



# 活動の実際 疾患の重症化予防、介護予防に関する事業

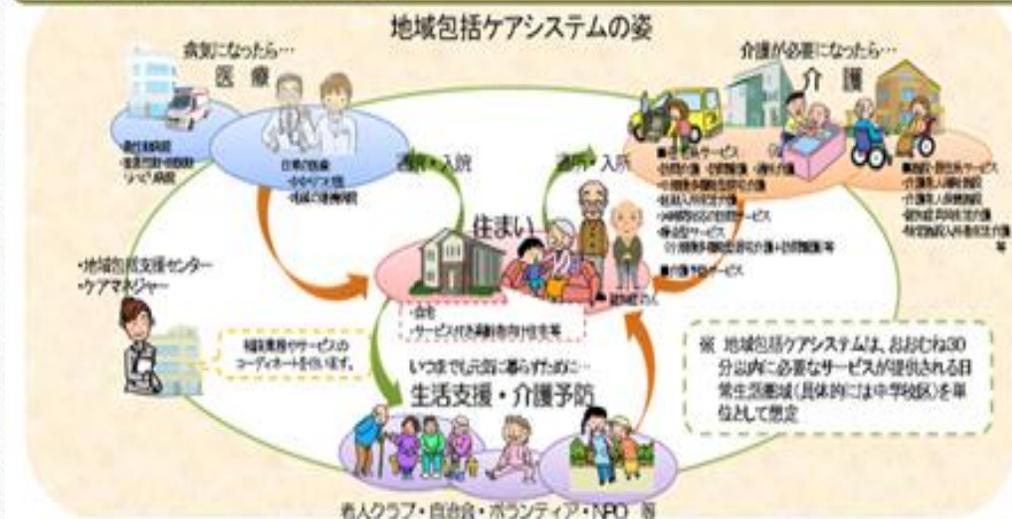
栄養食事指導  
訪問栄養食事指導  
特定保健指導  
無料栄養相談  
介護予防教室講師  
地域ケア会議の助言者



# 地域包括ケアシステムの構築と栄養ケアの必要性

## 地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**  
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



出典:厚生労働省 地域包括ケアシステム

## 栄養ケアが必要な多くの方々

「退院したけど何をどうやって  
食べたらいいの？」  
「一人じゃ作れないし、買い物も無理」  
「糖尿病食？薬飲んでるから大丈夫」  
「嚥下食？どうやって作ればいいの？」  
「食欲がなくて、やせてきてる」  
「硬いものは食べられなくなってきた」  
などなど

← **栄養ケア・ステーションの  
位置づけはない**

# 地域包括ケアシステムと連動する栄養ケアをめざして

## 厚生労働省

### 「栄養ケア活動支援整備事業」 受託 （平成26年度～28年度）

○栄養ケア・ステーションとの連携による地域コミュニティ等とのネットワークの構築

○多職種との協働による栄養ケアの推進

○地域の潜在管理栄養士（登録管理栄養士含む）の育成

### ○栄養ケアユニットの設置（埼玉県独自のシステム）

栄養ケアを推進していくためには、医療機関との連携が必須であり地域拠点としての医療機関が必要



現在は  
改定

← \*管理栄養士は当該医療機関と雇用契約が必要。

\*栄養食事指導が介護保険及び診療報酬の評価を得るためには、医師の指示が必要

指示書

# ＜栄養ケアユニット＞

(令和4年3月現在)

地域包括支援センター・居宅介護支援センター・訪問看護ステーションなどと連携

訪問栄養食事指導・外来栄養食事指導

- ・在宅訪問栄養食事指導（医療）
- ・管理栄養士の行う居宅療養管理指導（介護）  
（医療機関：指定居宅サービスみなし事業者）

通所デイでの栄養改善、介護予防  
など



- 1.丸木記念福祉メディカルセンター（入間郡毛呂山町）
- 2.赤心堂病院（川越市脇田本町）
- 3.埼玉精神神経センター（さいたま市中央区）
- 4.籠原病院（熊谷市美土里町）
- 5.行田中央総合病院（行田市富士見町）

# 認定栄養ケア・ステーション制度の開始

公益社団法人日本栄養士会で平成30年度（2018年度）から開始  
都道府県栄養士会で栄養ケア業務を行う適格性を確認、推薦し  
日本栄養士会で審査、認定する

施設区分	分類
I	起業管理栄養士型 病院・診療所・医師会型
II	介護型 大学・NPO型
III	自治体(市町村)型
IV	薬局型 企業(コンビニ・スーパー)型

## 地域における栄養支援の活動拠点

日本栄養士会は都道府県栄養士会の  
栄養ケア・ステーションと連携し、  
地域に根差したきめ細かい  
栄養ケアのネットワークの構築を  
めざす

# <認定栄養ケア・ステーション> (令和3年4月現在)

1. まちかど健康相談室 (ぽけっと)
2. 特定非営利活動法人オレンジ\*
3. 特定非営利活動法人栄養サポートみかん
4. 料理&カルチャー教室「いーとぴあ」
5. ほほえみーる
6. たから薬局東松山店
7. 日本調剤毛呂薬局
8. 日本調剤わらび薬局

\*機能強化型認定栄養ケア・ステーション  
(2021年9月より移行)



# ＜認定栄養ケア・ステーションの活動紹介＞

食育講座（キッズ対象）  
健康栄養教室・料理教室  
生活習慣病予防の献立や  
調理指導  
高齢者サロンでの交流  
オレンジカフェ開催  
日常生活支援総合事業事業  
訪問型サービスC（訪問栄養）  
ケア会議の助言者



▲  
お弁当作りに挑戦！



▲  
魚の下ごしらえに挑戦！



▲  
一人ずつ切り方練習



# <認定栄養ケア・ステーションの活動紹介>

## <コラボ事業>

市町村・社会福祉協議会  
地域包括支援センター  
学校・学童・保育園  
自治会・民生委員  
スーパー（ネットスーパー支援）

健康チェックステーション  
各種測定器を設置して  
栄養相談  
薬剤師との連携



# 認定栄養ケア・ステーションと栄養ケアユニット

	認定栄養ケア・ステーション	栄養ケアユニット
認定機関	(公社) 日本栄養士会 ⇒ (公社) 埼玉県栄養士会の推薦	(公社) 埼玉県栄養士会
商標登録	あり (栄養ケア・ステーション)	なし
県栄養士会栄養CSとの連携	あり	あり
県・郡市医師会との連携	なし	あり
設置母体	NPO、薬局、企業、医療機関 など	医療機関が中心
設置場所 (目標数)	全国 15000ヶ所を目標 県内 市町村1ヶ所 (63ヶ所) 以上	埼玉県内 郡市医師会に1ヶ所以上 (県内 30ヶ所以上)
採算性	必須	ある程度は必要
事業内容	健康増進 (生活習慣病)、保健指導、重症化予防、食育、介護予防教 (市民健康教室、栄養相談、短期訪問C) など	訪問栄養指導、外来栄養指導、薬局での栄養指導、通所デイ等での栄養改善、介護予防など
活動および紹介場所	市町村・保健センター、介護・福祉施設、保育園、幼稚園、地域包括支援センター、企業、薬局、診療所など	市町村、地域在宅医療連携拠点、地域包括支援センター、病院・診療所、薬局、小規模・通所介護施設 など
地域栄養ケアを担う管理栄養士の育成	組織内の教育あり 埼栄の栄養ケア実務者研修会及び生涯教育研修会への参加必須	あり 埼栄での実務者研修修了者が必須 生涯教育研修会への参加 (年2回)



# これからの栄養ケア・ステーション

## 地域栄養ケアネットワークの構築

医療機関（病院・クリニック）

調剤薬局

訪問看護ステーション

医師、歯科医師、看護師

薬剤師等の医療職種との理解と協働

マンパワーの確保

質の担保

市町村（行政）

社会福祉協議会

地域包括支援センター

行政職員の理解と連携

介護支援専門員、

ホームヘルパー等の理解と協働

地域住民

各所への周知と理解

各所との連携

企業

スーパー等

自治会・地域施設

地域コミュニティの理解と連携

ネットワークの構築

# お問い合わせ先

公益社団法人埼玉県栄養士会

栄養ケア・ステーション

---

住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目10番4号

埼玉建設会館内

連絡先 TEL 048-866-7925

FAX 048-866-7926

E-mail [s-eiyou@fancy.ocn.ne.jp](mailto:s-eiyou@fancy.ocn.ne.jp)

**ご静聴ありがとうございました。**